



防災、災害に備える日

8月は日本各地で大雨にみまわれ、大きな被害がでました。
大切な命を守るため、日頃の備えの大切さをあらためて考えましょう。

地震の被害

関東大震災

発生：大正12年(1923)9月1日。
被害状況：東京と横浜が中心。死者・行方不明者105,000人以上。
大規模火災が発生、犠牲者の8割以上は火災によるもの。

兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)

発生：平成7年(1995)1月17日。
被害状況：神戸市を中心に6,400人以上が死亡。
そのうち8割以上が倒壊家屋や家具の下敷きによる圧死や窒息死。
大規模火災も発生。



写真提供：神戸市



写真提供：神戸市

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

発生：平成23年(2011)3月11日。
被害状況：東北地方を中心に死者・行方不明者20,000人以上。
死者の9割以上が津波による溺死。



写真提供：仙台市

熊本地震

発生：平成28年(2016)4月14日(前震)と16日(本震)。
被害状況：死者161人。
年末までに震度1以上の度重なる地震(余震)が4,000回以上発生し、家屋被害190,000件以上。



日ごろの備え

■火災を防ぐために

◎避難をするときは、必ずブレーカーをOFFに！

- ・停電復旧時に、割れた家電製品や損傷したコードから出火する通電火災のおそれがあります。
- ・大きな揺れを感知して自動で切れる「感震ブレーカー」の設置がおすすめです。

■津波からの避難

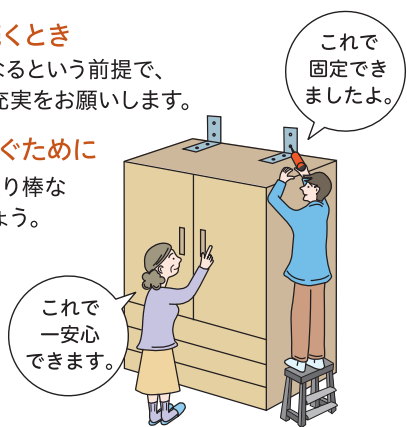
- ◎海に面していない城東区でも、川をさかのぼってきた津波が堤防を越えてくる可能性があります。
- ・沖合遠くが震源地のときは、小さな揺れでも津波が発生することもあります。

■地震(余震)発生が続くとき

- ◎物資供給が遅れがちになるという前提で、家庭内備蓄品の一層の充実をお願いします。

■家具などの倒壊を防ぐために

- ◎家具をL字金具や突っ張り棒などでしっかり固定しましょう。
- ・金具のねじ止めは、壁うらの柱にしっかりと、突っ張り棒は当て板をはさんで力を分散させるのも有効。



これで固定できましたよ。

これで一安心できます。

豆知識：地震 大地震の目安とは？！

マグニチュード(M)と震度は10段階で表されており、マグニチュード10は地球で起こる最大規模の地震と想定され、日本ではマグニチュード7以上を大地震としています。

毎年9月1日は防災の日

防災の日は、大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災の被害を忘れないよう、昭和35年(1960)に制定され、昭和57年(1982)には9月1日を含む1週間が『防災週間』となりました。稲の開花と台風が重なることの多い9月1日前後、を、古くから暦の上で二百十日(立春から210日後)と呼び、「災害への備えを怠らないように」との注意を促してきた意味も込められています。

毎月21日は城東区「災害に備える日」です！

室戸台風による城東区の被害

室戸台風は、現今福小学校、現聖賢小学校で校舎が倒壊。数十人の児童・職員が亡くなる痛ましい被害をもたらしました。区役所では、この被害を忘れず常に災害に備える気持ちを持ち続けていただくため、毎月21日を城東区「災害に備える日」と制定し、SNSなどで情報を発信し、啓発に努めています。

台風・豪雨の被害

室戸台風

発生：昭和9年(1934)9月21日。
高知県に上陸後、近畿から北陸を抜けた大型台風。
被害状況：大阪府では死者・行方不明者3,000人以上。



写真提供：大阪市立中央図書館



写真提供：大阪市立中央図書館

枕崎台風

発生：昭和20年(1945)9月17日。
鹿児島県枕崎市に上陸した台風が日本列島を縦断。
被害状況：広島県を中心に死者・行方不明者4,000人以上。

伊勢湾台風

発生：昭和34年(1959)9月26日。
和歌山県に上陸した台風が勢力を保ったまま本州を縦断。
被害状況：伊勢湾岸での高潮被害を中心に死者・行方不明者5,000人以上。

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)

発生：平成30年(2018)7月6日から8日。
停滞していた前線が台風の影響を受け、長時間にわたり記録的な大雨に。
被害状況：西日本各地で河川氾濫や土砂崩れが発生し、245人が死亡。



写真提供：(一財)消防防災化学センター

日ごろの備え

一般的に6月から10月は出水期と呼ばれる雨の多い時期。
特に9月は、近畿地方に台風が最も多く上陸するため、日ごろから天気予報などに注意して、対策をしておくことを心がけましょう。

■ここがポイント！

- ◎家の前の側溝や排水桝を掃除しておきましょう。
- ◎避難用品をチェックしておきましょう。
- ◎ハザードマップで浸水の危険性を把握しておきましょう。
- ◎浸水したときの避難場所を考えておきましょう。
- ・自宅や知人宅の3階以上は在宅避難場所と考えることができます。
- ◎「高齢者等避難」「全員避難」が発表されたら、迷わず避難しましょう。
- ◎雨がやんでも油断せず、避難指示や大雨警報が解除されるまでは外に出ず、屋内で待機しましょう。



城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」



豆知識：台風 強風にも注意！

秋の台風は、偏西風の影響を受けて通過スピードが増し、強風になります。また、台風の通過後も吹き返しの風が吹くため、注意しましょう。



地域の安全と安心を守る城東消防署

大阪市で5本指に入るほど出動件数が多い城東消防署。災害時は、迅速かつ安全に救助活動ができるよう、日々の訓練に努め、救命資器材設備などの点検に余念がない隊員の皆さんです。

